

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	畑地帯総合整備事業	都道府県名	北海道	地区名	北台
-----	-----------	-------	-----	-----	----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		2 , 4 4 2 , 4 7 1 千円	
年 効 用		1 7 2 , 5 9 3 千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		2 8 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 6 2 0	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	2 , 7 8 3 , 7 5 8 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 1 3	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	9 2 , 3 6 3	畑地かんがい、排水改良、土層改良等による単収の増加 対象作物：小麦、馬鈴薯、小豆、甜菜、牧草
営農経費の節減	営農経費節減効果	8 1 , 4 1 7	ほ場条件改善、水管理合理化による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：小麦、馬鈴薯、小豆、甜菜、牧草
	維持管理費節減効果	2 , 4 1 1	用水施設の新設に伴う施設の維持管理費の増加 対象施設：畑地かんがい施設
地域の生活環境の保全・向上	公共施設保全効果	4 2 6	付け替え道路等の整備による地域の利便性を確保 対象施設：農業用ダム（関連事業）
	水辺環境整備効果	7 9 8	周辺の景観配慮による水辺環境の保全、創造 対象施設：農業用ダム（関連事業）
計		1 7 2 , 5 9 3	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	畑地帯総合整備事業	都道府県名	北海道	地区名	津別北部
-----	-----------	-------	-----	-----	------

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		1 4 7 , 0 0 0 千円	
年 効 用		1 9 , 3 1 6 千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		3 6 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 5 4 6	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	3 5 3 , 7 7 3 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	2 . 4 0	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作 物 生 産 効 果	1 3 , 4 8 7	畑地及び水田の排水改良、土層改良等による転作面積の拡大や単収の増加 対象作物：水稻、小麦、馬鈴薯、甜菜、大豆、小豆
営農経費の節減	営 農 経 費 節 減 効 果	5 , 8 2 9	ほ場条件改善による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：小麦、馬鈴薯、甜菜、大豆、小豆
計		1 9 , 3 1 6	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	畑地帯総合整備事業	都道府県名	北海道	地区名	小清水南部
-----	-----------	-------	-----	-----	-------

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		5 6 0 , 7 0 0 千円	
年 効 用		6 0 , 7 5 7 千円	
廃 用 損 失 額		2 0 , 4 5 0 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		3 1 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0 . 0 5 8 7	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	1 , 0 1 4 , 5 9 3 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 8 0	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作 物 生 産 効 果	3 2 , 3 5 3	畑地の排水改良、土層改良等による単収の増加 対象作物：小麦、馬鈴薯、甜菜
営農経費の節減	営 農 経 費 節 減 効 果	1 1 , 2 6 6	ほ場条件改善による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：小麦、馬鈴薯、甜菜
	維持管理費節減効果	2 , 5 6 0	農道の改修に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：農道
	営農に係る走行経費節減効果	1 1 , 9 3 6	道路整備による農産物等の輸送にかかる経費の低減 対象施設：農道
施設更新による従前の農業生産の維持	更 新 効 果	2 , 5 3 8	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：農道
地域の生活環境の保全・向上	一般交通等経費節減効果	1 0 4	道路整備による一般交通にかかる経費の低減 対象施設：農道
計		6 0 , 7 5 7	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	畑地帯総合整備事業	都道府県名	北海道	地区名	端野上右岸
-----	-----------	-------	-----	-----	-------

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		1 , 9 1 1 , 0 0 0 千円	
年 効 用		2 5 1 , 6 3 6 千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		3 4 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 5 6 1	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	4 , 4 8 5 , 4 9 0 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	2 . 3 4	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作 物 生 産 効 果	1 7 0 , 9 3 0	水田の畑地転換、畑地及び水田の排水改良、土層改良等による転作面積の拡大や単収の増加 対象作物：水稲、小麦、馬鈴薯、甜菜、玉ねぎ
営農経費の節減	営 農 経 費 節 減 効 果	8 0 , 8 9 3	ほ場条件改善による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稲、小麦、馬鈴薯、甜菜、玉ねぎ
	維持管理費節減効果	1 8 7	排水施設の整備に伴う施設の維持管理費の増加 対象施設：排水路
計		2 5 1 , 6 3 6	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	畑地帯総合整備事業	都道府県名	北海道	地区名	端野下右岸
-----	-----------	-------	-----	-----	-------

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		1 , 1 4 4 , 5 0 0 千円	
年 効 用		1 4 3 , 0 4 0 千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		3 3 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 5 6 9	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	2 , 5 1 3 , 8 8 4 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	2 . 1 9	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	9 5 , 0 8 3	水田の畑地転換、畑地の排水改良、土層改良等による転作面積の拡大や単収の増加 対象作物：水稻、小麦、馬鈴薯、甜菜、玉ねぎ、牧草
営農経費の節減	営農経費節減効果	4 7 , 9 5 7	ほ場条件改善による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：小麦、馬鈴薯、甜菜、玉ねぎ、牧草
計		1 4 3 , 0 4 0	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	畑地帯総合整備事業	都道府県名	北海道	地区名	訓子府東部
-----	-----------	-------	-----	-----	-------

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		2 , 6 7 7 , 5 0 0 千円	
年 効 用		3 3 0 , 2 8 6 千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		3 2 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 5 7 7	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	5 , 7 2 4 , 1 9 4 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	2 . 1 3	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作 物 生 産 効 果	2 3 1 , 1 8 8	水田の畑地転換、畑地及び水田の排水改良、土層改良等による転作面積の拡大や単収の増加 対象作物：水稲、小麦、馬鈴薯、甜菜、玉ねぎ、牧草、デントコーン
	営農経費節減効果	9 9 , 1 7 3	ほ場条件改善による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稲、小麦、馬鈴薯、甜菜、玉ねぎ、牧草、デントコーン
営農経費の節減	維持管理費節減効果	7 5	排水施設の整備に伴う施設の維持管理費の増加 対象施設：排水路
	計	3 3 0 , 2 8 6	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	畑地帯総合整備事業	都道府県名	北海道	地区名	訓子府南部
-----	-----------	-------	-----	-----	-------

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		1 , 3 2 5 , 1 0 0 千円	
年 効 用		1 3 8 , 1 5 3 千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		3 2 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 5 7 7	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	2 , 3 9 4 , 3 3 3 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 8 0	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	9 4 , 3 0 3	水田の畑地転換、畑地の排水改良、土層改良等による転作面積の拡大や単収の増加 対象作物：水稻、小麦、馬鈴薯、甜菜、玉ねぎ、牧草、デントコーン
営農経費の節減	営農経費節減効果	4 3 , 8 5 0	ほ場条件改善による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：小麦、馬鈴薯、甜菜、玉ねぎ、牧草、デントコーン
計		1 3 8 , 1 5 3	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	畑地帯総合整備事業	都道府県名	北海道	地区名	常呂日吉
-----	-----------	-------	-----	-----	------

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		8 2 9 , 5 0 0 千円	
年 効 用		8 5 , 7 1 3 千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		3 1 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 5 8 7	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	1 , 4 6 0 , 1 8 7 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 7 6	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作 物 生 産 効 果	6 4 , 9 5 7	畑地の排水改良、土層改良等による単収の増加 対象作物：小麦、馬鈴薯、甜菜、玉ねぎ
営農経費の節減	営 農 経 費 節 減 効 果	2 1 , 0 0 5	ほ場条件改善による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：小麦、馬鈴薯、甜菜、玉ねぎ
	維持管理費節減効果	2 4 9	排水施設の整備に伴う施設の維持管理費の増加 対象施設：排水路
計		8 5 , 7 1 3	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	畑地帯総合整備事業	都道府県名	北海道	地区名	士幌東部
-----	-----------	-------	-----	-----	------

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		1 , 4 7 0 , 0 0 0 千円	
年 効 用		1 0 7 , 5 7 0 千円	
廃 用 損 失 額		3 , 0 5 7 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		3 2 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 5 7 7	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	1 , 8 6 1 , 2 4 1 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 2 6	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	5 5 , 5 4 7	畑地の排水改良、土層改良等による単収の増加 対象作物：小麦、甜菜、馬鈴薯、小豆、スイートコーン、牧草、テンコーン
営農経費の節減	営農経費節減効果	3 7 , 4 4 0	ほ場条件改善による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：小麦、甜菜、馬鈴薯、小豆、スイートコーン、牧草、テンコーン
	維持管理費節減効果	3 , 5 2 8	排水路、農道の改修に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：農道、排水路
	営農に係る走行経費節減効果	3 , 6 5 9	道路整備による農産物等の輸送にかかる経費の低減 対象施設：農道
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	6 , 7 0 8	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：農道、排水路
地域の生活環境の保全・向上	一般交通等経費節減効果	1 0	道路整備による一般交通にかかる経費の低減 対象施設：農道
	水辺環境整備効果	6 7 8	動植物の生息に配慮することにより、生態系を保全 対象施設：排水路
計		1 0 7 , 5 7 0	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	畑地帯総合整備事業	都道府県名	北海道	地区名	開陽
-----	-----------	-------	-----	-----	----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		3 4 6 , 5 0 0 千円	
年 効 用		3 7 , 6 6 9 千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		3 6 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 5 3 9	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	6 9 8 , 8 6 8 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	2 . 0 1	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作 物 生 産 効 果	2 6 , 5 3 9	畑地の排水改良、土層改良等による単収の増加 対象作物：大根、馬鈴薯、甜菜、牧草
営農経費の節減	営 農 経 費 節 減 効 果	1 1 , 1 3 0	ほ場条件改善による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：大根、馬鈴薯、甜菜、牧草
計		3 7 , 6 6 9	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	畑地帯総合整備事業	都道府県名	北海道	地区名	白滝
-----	-----------	-------	-----	-----	----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		1 7 8 , 5 0 0 千円	
年 効 用		1 2 , 9 8 6 千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		3 0 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 5 9 3	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	2 1 8 , 9 8 8 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 2 2	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作 物 生 産 効 果	4 , 8 5 6	畑地の排水改良、土層改良等による単収の増加 対象作物：小麦、甜菜、馬鈴薯、スイートコーン、かぼちゃ、牧草
営農経費の節減	営 農 経 費 節 減 効 果	8 , 1 3 0	ほ場条件改善による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：小麦、甜菜、馬鈴薯、スイートコーン、かぼちゃ
計		1 2 , 9 8 6	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	畑地帯総合整備事業	都道府県名	北海道	地区名	礼作別
-----	-----------	-------	-----	-----	-----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		4 0 9 , 5 0 0 千円	
年 効 用		3 7 , 2 4 4 千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		2 9 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 6 0 8	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	6 1 2 , 5 6 6 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 4 9	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作 物 生 産 効 果	2 3 , 1 0 6	畑地の排水改良、土層改良等による単収の増加 対象作物：馬鈴薯、甜菜、小豆、大豆、小麦、牧草、デントコーン
営農経費の節減	営 農 経 費 節 減 効 果	1 4 , 1 3 8	ほ場条件改善による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：馬鈴薯、甜菜、小豆、大豆、小麦、牧草、デントコーン
計		3 7 , 2 4 4	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	畑地帯総合整備事業	都道府県名	北海道	地区名	然別川左岸
-----	-----------	-------	-----	-----	-------

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		1 , 8 6 5 , 0 0 0 千円	
年 効 用		1 2 1 , 7 7 7 千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		3 3 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 5 6 9	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	2 , 1 4 0 , 1 9 3 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 1 4	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
営農経費の節減	営農経費節減効果	7 8 , 7 4 3	水管理合理化による労働時間の短縮 や機械経費の節減 対象：家畜（乳牛、肉用牛）用水、 畑作用水
	維持管理費節減効果	4 , 1 4 1	施設の新設に伴う施設の維持管理費 の増加 対象施設：営農用水施設
地域の生活環境 の保全・向上	生活用水確保効果	4 7 , 1 7 5	生活に欠かせない水道を整備する効果 対象施設：営農用水施設
計		1 2 1 , 7 7 7	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	畑地帯総合整備事業	都道府県名	北海道	地区名	西部
-----	-----------	-------	-----	-----	----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		1 , 6 0 4 , 0 1 2 千円	
年 効 用		1 2 5 , 6 5 4 千円	
廃 用 損 失 額		1 , 0 5 5 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		3 4 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 5 6 1	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	2 , 2 3 8 , 7 6 0 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 3 9	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
営農経費の節減	営 農 経 費 節 減 効 果	1 2 2 , 4 0 7	水管理合理化による労働時間の短縮 や機械経費の節減 対象：家畜（乳牛、肉用牛）用水、 畑作用水
	維持管理費節減効果	1 5 8	施設の改修に伴う施設の維持管理費 の節減 対象施設：営農用水施設
施設更新による 従前の農業生産 の維持	更 新 効 果	2 , 5 1 3	老朽化した施設の更新による従前の 農業生産の維持 対象施設：営農用水施設
地域の生活環境 の保全・向上	生活用水確保効果	5 7 6	生活に欠かせない水道を整備する効 果 対象施設：営農用水施設
計		1 2 5 , 6 5 4	

事業名	畑地帯総合整備事業	都道府県名	北海道	地区名	下美蔓
-----	-----------	-------	-----	-----	-----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		6 9 4 , 0 0 0 千円	
年 効 用		6 7 , 8 4 3 千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総 合 耐 用 年 数		2 6 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0 . 0 6 4 6	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	1 , 0 5 0 , 2 0 1 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 5 1	

2．年効用の総括

項 目		年効果額(千円)	効果の内容
営農経費の節減	営農経費節減効果	5 9 , 0 7 7	水管理合理化による労働時間の短縮 や機械経費の節減 対象：家畜(乳牛、肉用牛)用水、 畑作用水
	維持管理費節減効果	2 , 9 2 8	施設の新設に伴う施設の維持管理費 の増加 対象施設：営農用水施設
地域の生活環境 の保全・向上	生活用水確保効果	1 1 , 6 9 4	生活に欠かせない水道を整備する効果 対象施設：営農用水施設
計		6 7 , 8 4 3	

事業名	畑地帯総合整備事業	都道府県名	北海道	地区名	和天別
-----	-----------	-------	-----	-----	-----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		7 6 5 , 5 0 0 千円	
年 効 用		6 9 , 9 5 6 千円	
廃 用 損 失 額		5 4 , 4 9 3 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		2 9 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0 . 0 6 0 8	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	1 , 0 9 6 , 0 9 9 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 4 3	

2．年効用の総括

項 目		年効果額(千円)	効果の内容
営農経費の節減	営農経費節減効果	4 0 , 4 0 2	水管理合理化による労働時間の短縮 や機械経費の節減 対象：家畜(乳牛、肉用牛等)用水、畑作用水
	維持管理費節減効果	1 , 6 1 8	施設の改修に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：営農用水施設
施設更新による従前の農業生産の維持	更 新 効 果	2 7 , 9 3 6	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：営農用水施設
計		6 9 , 9 5 6	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	畑地帯総合整備事業	都道府県名	青森県	地区名	下湯口
-----	-----------	-------	-----	-----	-----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		7 , 2 5 8 , 0 8 3 千円	
年 効 用		4 1 3 , 9 1 9 千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		3 8 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 5 2 6	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	7 , 8 6 9 , 1 8 3 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 0 8	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	1 5 5 , 0 6 6	畑地かんがいによる単収の増加 対象作物：りんご
	品質向上効果	3 6 , 2 4 2	農道整備による荷傷みの防止 対象作物：りんご
営農経費の節減	営農経費節減効果	1 7 6 , 7 3 0	畑かん施設の整備による防除作業時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：りんご
	維持管理費節減効果	1 3 , 2 3 9	畑かん施設の新設及び農道の改良による維持管理費の節減 対象施設：畑かん施設、農道
	営農に係る走行経費節減効果	1 3 , 2 3 3	農道の改良に伴う車種転換による走行台数の縮減や走行時間の短縮
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	1 8 , 9 3 9	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：防除施設、農道
地域の生活環境の保全・向上	一般交通等経費削減効果	4 7 0	農道の改良による一般交通の走行時間の短縮
計		4 1 3 , 9 1 9	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	畑地帯総合整備事業	都道府県名	岩手県	地区名	奥中山中央
-----	-----------	-------	-----	-----	-------

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		4 , 5 2 2 , 4 5 0 千円	
年 効 用		2 7 4 , 5 9 7 千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総 合 耐 用 年 数		4 0 年	当該事業の耐用年数
還元率 $\times (1 + \text{建設利息率})$		0 . 0 5 2 5	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	5 , 2 3 0 , 4 1 9 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 1 5	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	4 7 , 4 2 9	畑地かんがい等による作付増減及び単収の増加 対象作物：レタス、ほうれん草、アオガリトウモロコシ等
	品質向上効果	2 5 4	農道整備による荷痛みの防止 対象作物：レタス、キャベツ
営農経費の節減	営農経費削減効果	2 3 4 , 2 9 7	ほ場の大区画化による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：レタス、キャベツ、アオガリトウモロコシ等
	維持管理費節減効果	9 , 9 5 6	畑かん施設の新設、農道の改修による維持管理費の増減 対象施設：畑かん施設、農道
	営農に係る走行経費節減効果	1 , 1 5 4	農道改修に伴う車種転換による運搬台数の縮減及び運搬時間の短縮
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	9 1 6	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：農道
地域の生活環境の保全・向上	一般交通等経費削減効果	5 0 3	農道改修による一般交通の走行時間の短縮
計		2 7 4 , 5 9 7	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	畑地帯総合整備事業	都道府県名	茨城県	地区名	尾崎北部
-----	-----------	-------	-----	-----	------

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		1 , 7 4 2 , 0 3 2 千円	
年 効 用		1 2 0 , 3 4 5 千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		4 0 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0 . 0 5 2 1	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	2 , 3 0 9 , 8 8 5 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 3 2	

2．年効用の総括

項 目		年効果額(千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	作 物 生 産 効 果	3 9 , 8 6 6	畑地かんがい、排水改良による単収増及び土地利用率の向上に伴う作付面積増
	品 質 向 上 効 果	1 7 0	畑地かんがいによる品質の向上 対象作物：夏ねぎ
営農経費の削減	営 農 経 費 節 減 効 果	5 7 , 5 8 3	区画整理に伴う機械の利用効率の向上及び用排水改良に伴う水管理の合理化 対象作物：夏秋レタス、秋冬はくさい、夏秋キャベツ、冬にんじん等
	維持管理費節減効果	3 , 5 4 8	用排水施設等の新設、改修、統廃合に伴う施設の維持管理費の増減 対象施設：揚水機場、用水路、排水路、道路
	営農に係る走行経費節減効果	1 3 , 0 9 2	農道が新設されることによる農産物の生産並びに流通に係る輸送経費の節減 対象施設：農道
施設更新による従前農業生産の維持	更 新 効 果	4 , 6 2 7	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路、排水路、道路
地域の生活環境の保全・向上	一般交通等経費節減効果	1 , 2 6 7	農道の整備による一般交通に要する経費の増減 対象施設：農道
	非農用地等創設効果	2 , 2 7 0	換地手法を用いて計画的に非農用地を円滑に創設することによる経費の節減
	文 化 財 発 見 効 果	5 , 0 1 8	事業実施に伴う文化財の具現化、発掘調査による文化的価値の明確化等
計		1 2 0 , 3 4 5	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	畑地帯総合整備事業	都道府県名	茨城県	地区名	西生子
-----	-----------	-------	-----	-----	-----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		3 8 4 , 5 0 0 千円	
年 効 用		3 0 , 5 1 7 千円	
廃 用 損 失 額		1 , 0 3 2 千円	廃用する施設の現存価値
総 合 耐 用 年 数		4 0 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0 . 0 5 2 1	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	5 8 4 , 7 0 7 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 5 2	

2．年効用の総括

項 目	年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作 物 生 産 効 果 1 3 , 1 0 9	畑地かんがい、排水改良による単収増及び土地利用向上に伴う作付面積増 対象作物：レタス、はくさい、トマト、ねぎ
	品 質 向 上 効 果 2 , 9 2 2	農道の舗装による生産物運搬の際の荷痛み防止 対象作物：レタス、はくさい、トマト、ねぎ
営農経費の削減	営 農 経 費 節 減 効 果 8 , 6 2 2	区画整理に伴う機械の利用効率の向上及び用排水改良に伴う水管理の合理化 対象作物：レタス、はくさい、トマト、ねぎ
	維持管理費節減効果 3 0 3	用排水施設等の新設、改修、統廃合に伴う施設の維持管理費の増減 対象施設：揚水機場、用水路、排水路、道路
	営農に係る走行経費節減効果 4 , 9 2 2	農道が新設されることによる農産物の生産並びに流通に係る輸送経費の節減 対象施設：農道
施設更新による従前の農業生産の維持	更 新 効 果 2 0 8	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：農道
生活環境整備効果	一般交通等経費節減効果 3 2 9	農道の整備による一般交通に要する経費の増減 対象施設：農道
	非農用地等創設効果 7 0 8	換地手法を用いて計画的に非農用地を円滑に創設することによる経費の節減
計		3 0 , 5 1 7

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	畑地帯総合整備事業	都道府県名	茨城県	地区名	下伊勢畑
-----	-----------	-------	-----	-----	------

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		5 0 7 , 2 9 3 千円	
年 効 用		4 3 , 3 3 4 千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		3 6 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 5 4 6	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	7 9 3 , 6 6 3 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 5 6	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	1 2 , 6 0 4	水田の排水改良等による転作作物の面積拡大や単収増、畑地かんがいによる単収増及び土地利用率の向上に伴う作付け面積の増 対象作物：水稻、陸稲、ほうれん草、大根、はくさい、ごぼう、やまいも
営農経費の節減	営農経費節減効果	2 4 , 2 3 9	ほ場の大区画化による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稻、陸稲、ほうれん草、大根、はくさい、ごぼう、やまいも
	維持管理費節減効果	4 8 1	用排水施設等の改修、統廃合に伴う施設の維持管理費の増減 対象施設：揚水機場、用水路、排水路、道路、井戸
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	4 , 5 6 6	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路、排水路、道路
地域の生活環境の保全・向上	非農用地等創設効果	2 , 4 0 6	換地手法を用いて計画的に非農用地を円滑に創設することによる経費の軽減 対象用地：河川用地
計		4 3 , 3 3 4	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	畑地帯総合整備事業	都道府県名	茨城県	地区名	遠東
-----	-----------	-------	-----	-----	----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		374,000千円	
年 効 用		28,881千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		37年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+ 建設利息率)		0.0539	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	535,825千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1.43	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	5,473	ほ場の大区画と担い手への集積の増進、高収益作物の作付面積の増。 対象作物：小麦、ハクサイ、ジャガイモ
営農経費の節減	営農経費節減効果	23,411	ほ場の大区画化による作業効率の向上、労働時間の短縮、機械経費の節減 対象作物：小麦、芝、ジャガイモ
	維持管理費節減効果	396	従前の道路から幅員が増加による維持管理費の増加 対象施設：排水路、道路
地域の生活環境の保全・向上	非農用地等創設効果	393	換地手法を用いた合理的かつ経済的な用地取得による経費節減 対象施設：道路、用排水路
計		28,881	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	畑地帯総合整備事業	都道府県名	群馬県	地区名	羽場坂
-----	-----------	-------	-----	-----	-----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		1,781,453千円	
年 効 用		100,727千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		38年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0.0536	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	1,879,241千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1.05	

2．年効用の総括

項 目		年効果額(千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	41,529	畑地かんがいによる単収増及び土地利用率の向上に伴う作付け面積の増減 対象作物：はくさい、キャベツ、だいこん、レタス等
	品質向上効果	5,565	農道の舗装による生産物運搬の際の荷傷み防止 対象作物：はくさい、キャベツ、だいこん、レタス等
営農経費の節減	営農経費節減効果	20,063	区画整理に伴う機械利用効率の向上 対象作物：はくさい、キャベツ、だいこん、レタス等
	維持管理費節減効果	4,227	畑かん施設新設による管理費及び農道等の管理費の増加 対象施設：管路工、散水施設、農道、排水路、排水兼用農道
	営農に係る走行経費節減効果	1,288	輸送車両の大型化、走行速度変更による輸送時間の短縮 対象施設：農道
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	10,757	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：農道、排水兼用農道

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
施設更新による 災害防止	災害防止効果	2 5 , 0 3 7	排水路等の整備による農地、農産物 等への被害の減 対象施設：排水路、排水兼用農道
地域の生活環境 の保全・向上	地籍確定効果	7 1 5	事業実施の伴う地籍の確定による国 土調査経費の減
計		1 0 0 , 7 2 7	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	畑地帯総合整備事業	都道府県名	群馬県	地区名	須川・新巻
-----	-----------	-------	-----	-----	-------

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		4 9 5 , 0 0 0 千円	
年 効 用		3 0 , 3 7 4 千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総 合 耐 用 年 数		3 6 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 5 4 6	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	5 5 6 , 3 0 0 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 1 2	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	1 3 , 6 4 3	畑地かんがいによる単収増及び作付転換による作付面積の増減 対象作物：水稲、大豆、そば、じゃがいも等
	品質向上効果	1 8 7	農道の舗装による生産物運搬の際の荷傷み防止 対象作物：リンゴ、さくらんぼ、ブルーベリー
営農経費の削減	維持管理費節減効果	6 , 6 1 4	用水施設、農道の整備による維持管理費の節減 対象施設：用水施設、農道
	営農に係る走行経費節減効果	5 3 6	農産物輸送経路の変更、速度向上、車種変化等による走行経費の節減 対象施設：農道
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	8 , 6 7 0	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：農道
地域の生活環境の保全・向上	一般交通等経費節減効果	7 2 4	農道の整備による一般交通に要する経費の節減
計		3 0 , 3 7 4	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	畑地帯総合整備事業	都道府県名	山梨県	地区名	玉宮
-----	-----------	-------	-----	-----	----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		1 , 5 6 7 , 0 0 0 千円	
年 効 用		8 4 , 7 0 1 千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		4 1 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 5 1 0	総合耐用年数に応じた効用から総 便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	1 , 6 6 0 , 8 0 4 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 0 5	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農産物の生産量 増加	作 物 生 産 効 果	4 , 7 4 3	排水改良等による単収の増加。 対象作物：もも、ぶどう、すもも
	品 質 向 上 効 果	2 , 3 7 2	農道の舗装による生産物運搬の際の 荷傷み防止 対象作物：もも、すもも、ぶどう
営農経費の節減	営 農 経 費 節 減 効 果	1 2 , 9 9 7	樹園地の区画整理による労働時間の 短縮や機械経費の節減 対象作物：もも、ぶどう
	維 持 管 理 節 減 効 果	5 , 8 3 3	農道、用排水施設等の改修に伴う施 設の維持管理費の節減 対象施設：農道、用排水路
	走 行 経 費 節 減 効 果	3 5 , 1 0 7	流通経路の変更に伴う走行経費と人 件費の節減
施設更新による 従前の農業生産 の維持	更 新 効 果	2 , 3 4 4	老朽化した施設の更新による従前の 農業生産の維持 対象施設：用排水路、農道
地域の生活環境 の保全・向上	一般交通等経費節減 効果	2 1 , 3 0 5	一般交通車両の経費節減される効果 対象施設：農道
計		8 4 , 7 0 1	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	畑地帯総合整備事業	都道府県名	山梨県	地区名	春日居第一
-----	-----------	-------	-----	-----	-------

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		8 4 0 , 0 0 0 千円	
年 効 用		4 9 , 3 9 1 千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		4 0 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0 . 0 5 1 5	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	9 5 9 , 0 4 9 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 1 4	

2．年効用の総括

項 目		年効果額(千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	作 物 生 産 効 果	1 , 7 0 5	排水改良等による単収の増加 対象作物：もも、ぶどう
営農経費の節減	営 農 経 費 節 減 効 果	1 0 , 1 6 2	樹園地の区画整理による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：もも、ぶどう
	走 行 経 費 節 減 効 果	3 0 , 7 8 5	農道の改良に伴う車種、走行速度の変更による人件費、走行経費等の節減 対象作物：もも、ぶどう
	維持管理費節減効果	5 , 3 3 5	農道、排水施設等の改修に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：道路、排水路
施設更新による従前の農業生産の維持	更 新 効 果	1 , 4 0 4	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：道路
計		4 9 , 3 9 1	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	畑地帯総合整備事業	都道府県名	静岡県	地区名	富士西
-----	-----------	-------	-----	-----	-----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		1,045,000千円	
年 効 用		99,000千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		18年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0.0821	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	1,205,847千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1.15	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	品質向上効果	736	農道の舗装による生産運搬の際の荷傷み防止及び生産物の砂塵汚染の防止 対象作物：みかん、茶
営農経費の節減	営農経費節減効果	16,768	用水改良に伴う水管理の合理化 対象施設：用水機場、調整槽、用水路
	維持管理費節減効果	32,017	用水施設及び農道の新設改修に伴う維持管理費の増減 対象施設：用水機場、調整槽、用水路、農道
	営農に係る走行経費節減効果	5,034	農道新設及び拡幅による農産物生産並びに流通に係る輸送経費の節減 対象施設：農道
生産基盤保全	更新効果	44,445	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水機場、用水路
計		99,000	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	畑地帯総合整備事業	都道府県名	静岡県	地区名	牧之原朝比奈
-----	-----------	-------	-----	-----	--------

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		3 , 2 8 4 , 5 3 2 千円	
年 効 用		3 2 4 , 6 7 0 千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総 合 耐 用 年 数		1 8 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 8 1 5	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	3 , 9 8 3 , 6 8 1 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 2 1	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増額	作物生産効果	4 4 , 9 1 7	畑地かんがいによる単収の増及び凍霜害防止による単収の増 対象作物：茶
営農経費の節減	営農経費節減効果	2 8 8 , 2 4 0	畑地かんがいによる施肥、防除、かん水の時間短縮及び機械経費の節減。 対象作物：茶
	維持管理費節減効果	8 , 4 8 7	畑地かんがい施設の維持管理費の増。 対象施設：揚水機場、末端配管
計		3 2 4 , 6 7 0	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	畑地帯総合整備事業	都道府県名	愛媛県	地区名	北条
-----	-----------	-------	-----	-----	----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		1 9 9 , 5 0 0 千円	
年 効 用		2 5 , 9 6 5 千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		1 1 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 1 1 7 1	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	2 2 1 , 7 3 2 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 1 1	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
営農経費の節減	維持管理費節減効果	7 , 0 6 4	老朽化した施設の更新による維持管理費の節減 対象施設：水源(ダム)施設、水管橋、制御装置
施設更新による従前の農業生産の維持	更 新 効 果	1 8 , 9 0 1	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：水源(ダム)施設、水管橋、制御装置
計		2 5 , 9 6 5	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	畑地帯総合整備事業	都道府県名	愛媛県	地区名	貝吹蔵良２期
-----	-----------	-------	-----	-----	--------

１．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		１，９１１，０００千円	
年 効 用		１３７，４１０千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		３６年	当該事業の耐用年数
還元率×（１＋建設利息率）		０．０５３９	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	２，５４９，３５１千円	
費 用 便 益 比	= ÷	１．３３	

２．年効用の総括

項 目	年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作 物 生 産 効 果	７２ 水田の水管理改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稻、きゅうり、ソコ、イタリ
	品 質 向 上 効 果	２，０１７ 農道整備による防塵、荷痛み防止 対象作物：ソコ、きゅうり、ピーマン
営農経費の節減	営 農 経 費 節 減 効 果	７０１ ほ場の大区画化による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稻、きゅうり、ソコ、イタリ
	維持管理費節減効果	７２３ 施設の改修に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用水路、排水路、道路
	営農に係る走行経費節減効果	１１９，９３５ 道路の新設、改修による輸送経費の節減
施設更新による従前の農業生産の維持	更 新 効 果	１３，９６２ 施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路、排水路、道路
計		１３７，４１０

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	畑地帯総合整備事業	都道府県名	長崎県	地区名	原山
-----	-----------	-------	-----	-----	----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		4 5 2 , 0 0 0 千円	
年 効 用		3 6 , 5 9 5 千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		3 2 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 5 7 7	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	6 3 4 , 2 2 8 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 4 0	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作 物 生 産 効 果	6 , 8 9 4	区画整理に伴う土地利用向上による作付面積の増加及び用水施設の整備に伴う作物単収の増加 対象作物：レタス、ブロッコリー、白菜、大根
営農経費の節減	営 農 経 費 節 減 効 果	2 9 , 2 6 7	区画整理に伴う営農機械大型化による営農経費の節減及び畑地かんがい施設整備による水輸送経費の節減 対象作物：馬鈴薯、レタス、ブロッコリー
	維持管理費節減効果	1 , 6 7 1	用排水施設整備及び区画整理に伴う施設の維持管理費の増加 対象施設：排水路、道路、揚水機場、加圧機場、送配水管、ファームpond
施設更新による従前の農業生産の維持	更 新 効 果	2 , 1 0 5	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：排水路、道路、石積み
計		3 6 , 5 9 5	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	畑地帯総合整備事業	都道府県名	長崎県	地区名	布津東部
-----	-----------	-------	-----	-----	------

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		7 2 6 , 0 0 0 千円	
年 効 用		4 5 , 6 3 8 千円	
廃 用 損 失 額		2 , 1 6 6 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		3 2 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 5 7 7	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	7 8 8 , 7 8 7 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 0 8	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	2 0 , 8 1 3	区画整理に伴う作付体系変化による作付増減及び畑地かんがいによる作物単収の増加 対象作物：いちご、大根、白菜、秋作メロン、レタス他
営農経費の節減	営農経費節減効果	1 9 , 8 8 0	区画整理に伴う営農機械大型化による営農経費節減及び畑地かんがい施設整備による水輸送経費の節減 対象作物：大根、白菜、秋作メロン、レタス他
	維持管理費節減効果	1 , 3 3 9	区画整理及び用排水施設の整備に伴う施設の維持管理費の増加 対象施設：排水路、道路、揚水機場、加圧機場、送配水管、ファームポンド
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	6 , 2 8 4	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：排水路、道路、石積み
計		4 5 , 6 3 8	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	畑地帯総合整備事業	都道府県名	熊本県	地区名	赤仁田
-----	-----------	-------	-----	-----	-----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		1 7 9 , 5 5 0 千円	
年 効 用		1 0 , 1 2 9 千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		4 1 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 5 1 3	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	1 9 7 , 4 4 6 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 0 9	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	品 質 向 上 効 果	1 , 0 0 3	砂利道の舗装による荷傷みの防止 対象作物：温州みかん
営農経費の節減	営 農 経 費 節 減 効 果	7 , 5 5 9	園地整備に伴う労働時間の短縮や機械経費等の節減 対象作物：温州みかん
	維持管理費節減効果	2 3 5	道水路の改修・新設に伴う施設の維持管理の節減 対象施設：排水路・耕作道路・農道
	営農に係る走行経費節減効果	6 9 8	支線道路の新設による走行経費の節減 対象輸送：通作、一次輸送
施設更新による従前の農業生産の維持	更 新 効 果	6 3 4	既存施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：排水路・耕作道路
計		1 0 , 1 2 9	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	畑地帯総合整備事業	都道府県名	熊本県	地区名	花 房 中 部
-----	-----------	-------	-----	-----	---------

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		1 , 8 7 4 , 0 0 0 千円	
年 効 用		1 0 0 , 2 9 4 千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		4 7 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 4 9 0	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	2 , 0 4 6 , 8 1 6 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 0 9	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作 物 生 産 効 果	2 3 , 7 6 1	区画整理・用水施設の整備に伴う転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：かすみ草、ごぼう、キャベツ、メロン、いちご、大豆等
営農経費の節減	営 農 経 費 節 減 効 果	4 6 , 6 4 2	ほ場の大区画化による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稲、大豆、いちご、キャベツ、ごぼう、メロン等
	維持管理費節減効果	6 , 6 8 5	用排水施設等の改修、統廃合に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：揚水機、用水路、排水路、道路
施設更新による従前の農業生産の維持	更 新 効 果	1 8 , 2 8 7	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：揚水機、用水路、排水路、道路
地域の生活環境の保全・向上	文 化 財 発 見 効 果	4 , 4 8 8	文化財発掘による社会的効果
	地 籍 確 定 効 果	4 3 1	区画整理による地籍確定
計		1 0 0 , 2 9 4	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	畑地帯総合整備事業	都道府県名	宮崎県	地区名	住吉
-----	-----------	-------	-----	-----	----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		2,720,700千円	
年 効 用		148,982千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		44年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0.0506	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	2,944,308千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1.08	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	127,164	水田の用排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稲、ピーマン、さといも、きゅうり、たばこ等
営農経費の節減	営農経費節減効果	17,179	関連事業 国営大淀川左岸地区の営農経費の計上。水田の乾田化による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稲、ソゴ-
	維持管理費節減効果	695	用排水施設等の改修、統廃合に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用水路、排水路、道路
	営農に係る走行経費節減効果	1,821	付帯工（農道工）の走行速度の増加による輸送経費の節減 対象作物：水稲、ピーマン、さといも、きゅうり、たばこ等
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	2,123	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：排水路、道路
計		148,982	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	畑地帯総合整備事業	都道府県名	宮崎県	地区名	千歳・環野
-----	-----------	-------	-----	-----	-------

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		2,067,100千円	
年 効 用		125,958千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		39年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0.0531	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	2,372,090千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1.14	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	128,052	水田の用排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：甘藷、さといも、ごぼう、たばこ、きゅうり等
営農経費の節減	営農経費節減効果	3,971	関連事業 国営西諸土地改良事業の営農経費の計上
	維持管理費節減効果	880	用水施設等の新設に伴う施設の維持管理費の増加 対象施設：用水路、道路
	営農に係る走行経費節減効果	2,115	附帯工（農道工）の走行速度の増加による輸送経費の節減 対象作物：甘藷、さといも、ごぼう、たばこ、きゅうり等
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	642	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：道路
計		125,958	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	畑地帯総合整備事業	都道府県名	鹿児島県	地区名	第二高山
-----	-----------	-------	------	-----	------

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		4 6 2 , 0 0 0 千円	
年 効 用		3 5 , 4 4 6 千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		4 8 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 4 8 7	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	7 2 7 , 8 4 3 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 5 7	

2．年効用の総括

項 目		年効果額 (千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	作 物 生 産 効 果	9 7 8	農作物の作付面積の増減に伴う作物生産量の増加 対象作物：原料用甘藷，そば，イタリアライグラス，青刈トウモロコシ
営農経費の節減	営 農 経 費 節 減 効 果	3 2 , 4 4 4	農作業の効率化による営農経費の節減 対象作物：原料用甘藷，イタリアライグラス，青刈トウモロコシ，
	維持管理費節減効果	5 0 5	排水施設等の新設，改修に伴う維持管理費の増減 対象施設：農道，排水路
施設更新による従前の農業生産の維持	更 新 効 果	1 , 0 0 5	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：農道，排水路
地域の生活環境の保全・向上	文 化 財 発 見 効 果	1 , 1 6 3	事業実施に伴い埋蔵文化財が発見され，文化的価値が明確化する効果
	地 籍 確 定 効 果	3 6 1	区画整理に伴い地籍が明確化する効果
計		3 5 , 4 4 6	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	畑地帯総合整備事業	都道府県名	鹿児島県	地区名	第一吾平
-----	-----------	-------	------	-----	------

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		4 7 2 , 5 0 0 千円	
年 効 用		3 1 , 8 6 3 千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		4 3 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 5 0 7	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	6 2 8 , 4 6 1 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 3 3	

2．年効用の総括

項 目		年効果額 (千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	作 物 生 産 効 果	7 4 3	農作物の作付面積の増減に伴う作物生産量の増加 対象作物：原料用甘藷，青刈りトウモロコシ，イタリアライグラス
営農経費の節減	営農経費節減効果	2 8 , 2 7 3	農作業の効率化による営農経費の節減 対象作物：原料用甘藷，青刈りトウモロコシ，イタリアライグラス
	維持管理費節減効果	5 5 6	排水施設等の新設，改修に伴う維持管理費の増減 対象施設：農道，排水路
施設更新による従前の農業生産の維持	更 新 効 果	2 , 3 3 8	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：農道，排水路
地域の生活環境の保全・向上	文 化 財 発 見 効 果	6 6 1	事業実施に伴い埋蔵文化財が発見され，文化的価値が明確化する効果
	地 籍 確 定 効 果	4 0 4	区画整理に伴い地籍が明確化する効果
計		3 1 , 8 6 3	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	畑地帯総合整備事業	都道府県名	鹿児島県	地区名	横峯
-----	-----------	-------	------	-----	----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		131,200千円	
年 効 用		15,162千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		12年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0.1087	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	139,484千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1.06	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	15,162	土層改良に伴う作物単収の増加及び品質向上 対象作物：外コ、甘藷、サトウキビ、イタリア、ソルゴー
計		15,162	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	畑地帯総合整備事業	都道府県名	鹿児島県	地区名	第二阿権
-----	-----------	-------	------	-----	------

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		1,231,700千円	
年 効 用		81,835千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		27年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0.0632	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	1,294,857千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1.05	

2．年効用の総括

項 目		年効果額(千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	13,195	農作物の作付面積の増減に伴う作物生産量の増加 対象作物：サウヰ、バレイショ、ローズグラス、ジャガイモ、スイートコーン
営農経費の節減	営農経費節減効果	46,278	農作業の効率化による営農経費の節減 対象作物：サウヰ、バレイショ、ローズグラス、ジャガイモ、スイートコーン
	維持管理費節減効果	1,731	排水施設等の新設、改修に伴う維持管理費の節減 対象施設：沈砂池、農道、排水路
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	580	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：農道、排水路
地域の生活環境の保全・向上	地籍確定効果	1,027	区画整理に伴い地籍が明確化する効果
	水辺環境整備効果	22,486	赤土流出防止対策に伴う河川、海への環境保全 対象施設：沈砂池、土砂溜、種子吹付
計		81,835	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	畑地帯総合整備事業	都道府県名	鹿児島県	地区名	第二畦布
-----	-----------	-------	------	-----	------

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		539,700千円	
年 効 用		29,675千円	
廃 用 損 失 額		620千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		38年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0.0533	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	556,134千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1.03	

2．年効用の総括

項 目		年効果額(千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	3,020	農作物の作付面積の増減に伴う作物生産量の増加 対象作物：サウヰ、パレショ、スプレー菊、ユリ球根、ユリタ、ユリ(切花)、ニガリ、サト、ローズグラス、飼料用トモコシ
営農経費の節減	営農経費節減効果	18,619	農作業の効率化による営農経費の節減 対象作物：サウヰ、パレショ、サト、ローズグラス、飼料用トモコシ
	維持管理費節減効果	670	排水施設等の新設、改修に伴う維持管理費の節減 対象施設：沈砂池、農道、排水路
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	1,042	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：農道、排水路
地域の生活環境の保全・向上	水辺環境整備効果	7,664	赤土流出防止対策に伴う河川、海への環境保全 対象施設：沈砂池、土砂溜、種子吹付
計		29,675	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	畑地帯総合整備事業	都道府県名	鹿児島県	地区名	第二住吉
-----	-----------	-------	------	-----	------

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		6 1 1 , 1 0 0 千円	
年 効 用		3 6 , 7 2 3 千円	
廃 用 損 失 額		2 8 3 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		3 7 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 5 3 9	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	6 8 1 , 0 3 4 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 1 1	

2．年効用の総括

項 目	年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	7 , 5 7 2	農作物の作付面積の増減に伴う作物生産量の増加 対象作物：サウヰ、バレイショ、芋球根、 タバコ、エンドウ、ローズグラス、飼料用トウモロコシ
営農経費の節減	営農経費節減効果	2 2 , 0 4 8 農作業の効率化による営農経費の節減 対象作物：サウヰ、バレイショ、サトイモ、ローズグラス、飼料用トウモロコシ、インゲン、エンドウ、タバコ
	維持管理費節減効果	9 2 9 排水施設等の新設、改修に伴う維持管理費の節減 対象施設：沈砂池、農道、排水路
施設更新による従前の農業生産の維持	更 新 効 果	1 3 9 老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：農道
地域の生活環境の保全・向上	水辺環境整備効果	7 , 8 9 3 赤土流出防止対策に伴う河川、海への環境保全 対象施設：沈砂池、土砂溜、種子吹付
計	3 6 , 7 2 3	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	畑地帯総合整備事業	都道府県名	鹿児島県	地区名	手々
-----	-----------	-------	------	-----	----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		1,258,641千円	
年 効 用		75,208千円	
廃 用 損 失 額		4,427千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		37年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0.0542	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	1,383,174千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1.09	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	75,331	用水路等の整備に伴う作物単収の増加 対象作物：サトウキビ、パイン、イチゴ、ローズグラス
営農経費の節減	営農経費節減効果	2,926	農作業の効率化による営農経費の節減 対象作物：サトウキビ、パイン
	維持管理費節減効果	3,998	土地改良施設等の新設、改修に伴う維持管理費の節減 対象施設：ダム、ファームロード、水管理施設
地域の生活環境の保全・向上	公共施設保全効果	949	公共施設の更新による従前の機能の維持 対象施設：県道、町道
計		75,208	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	畑地帯総合整備事業	都道府県名	鹿児島県	地区名	天北松原
-----	-----------	-------	------	-----	------

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		3,227,496千円	
年 効 用		192,520千円	
廃 用 損 失 額		1,818	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		33年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0.0572	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	3,363,916千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1.04	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	197,722	用水路等の整備に伴う作付面積の増減及び作物単収の増加 対象作物：サトウキビ、パレイショ、イリアン、ローズグラス、サトモ、トウモロコシ
営農経費の節減	営農経費節減効果	5,273	農作業の効率化による営農経費の節減 対象作物：サトウキビ、パレイショ、ニンジン、加チャ
	維持管理費節減効果	10,861	土地改良施設等の新設、改修に伴う維持管理費の節減 対象施設：ダム、ファームロード、水管理施設
地域の生活環境の保全・向上	公共施設保全効果	386	公共施設の更新による従前の機能の維持 対象施設：県道、町道
計		192,520	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	畑地帯総合整備事業	都道府県名	鹿児島県	地区名	出花
-----	-----------	-------	------	-----	----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		1,418,676千円	
年 効 用		86,369千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		30年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0.0589	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	1,466,366千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1.03	

2．年効用の総括

項 目	年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	69,285	用水路等の整備に伴う作物単収の増加 対象作物：サウヰ、パレイヨ、サヤ、花卉
営農経費の節減	2,367	農作業の効率化による営農経費の節減 対象作物：サウヰ、パレイヨ、サヤ、花卉
	938	土地改良施設等の新設及び改修に伴う維持管理費の節減 対象施設：農道、集水池
	8,948	農道整備に伴う農業輸送及び通作に係る走行経費の節減 対象施設：農道
施設更新による従前の農業生産の維持	2,111	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：農道
地域の生活環境の保全・向上	4,596	公共施設の更新による従前の機能の維持 対象施設：町道
計	86,369	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	畑地帯総合整備事業	都道府県名	沖縄県	地区名	西東
-----	-----------	-------	-----	-----	----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		3 , 4 6 6 , 7 2 2 千円	
年 効 用		1 9 0 , 3 1 8 千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		4 0 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 5 2 2	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	3 , 6 4 5 , 9 3 9 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 0 5	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	1 1 4 , 2 1 8	畑地かんがい施設の整備による作付面積の拡大や単収の増加 対象作物：ゴーヤ、メロン、マンゴー、葉タバコ、さとうきび
営農経費の節減	営農経費節減効果	4 6 , 1 8 1	ほ場の大区画化等による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：葉タバコ、さとうきび
	維持管理費節減効果	9 , 9 2 4	排水路等の新設による維持管理費の増加 対象施設：排水路、農道、浸透池、用水路等
地域の生活環境の保全・向上	水辺環境整備効果	3 9 , 8 4 3	生物の生息に配慮した区画整理による水辺環境の保全 対象施設：浸透池等
計		1 9 0 , 3 1 8	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	畑地帯総合整備事業	都道府県名	沖縄県	地区名	東嶺原
-----	-----------	-------	-----	-----	-----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		1 , 7 4 2 , 4 5 1 千円	
年 効 用		1 0 1 , 3 7 4 千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		3 8 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 5 3 3	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	1 , 9 0 1 , 9 5 1 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 0 9	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	6 6 , 2 1 5	畑地かんがい施設の整備による作付面積の拡大や単収の増加 対象作物：ゴーヤ、メロン、マンゴー、葉タバコ、さとうきび
営農経費の節減	営農経費節減効果	2 2 , 9 4 3	ほ場の大区画化等による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：葉タバコ、さとうきび
	維持管理費節減効果	5 , 4 7 6	排水路等の新設による維持管理費の増加 対象施設：排水路、農道、浸透池、用水路等
地域の生活環境の保全・向上	水辺環境整備効果	1 7 , 6 9 2	生物の生息に配慮した区画整理による水辺環境の保全 対象施設：浸透池等
計		1 0 1 , 3 7 4	